

JRの業務外注化を止めるためのニュースです。感想や意見、現場の情報などをお寄せ下さい。(メール) dc-info@deluxe.ocn.ne.jp

## 転籍のための偽装出向!

### 人件費削減のためだけの委託や出向は派遣法・職安法違反 東労組の裏切り妥結こそが法律違反をまかり通らせている

業務委託の最終的な目的は、JRの社員の大半を出向→転籍によって請負会社に突き落とすことです。そのために会社は「偽装請負」や「偽装出向」という手の込んだ犯罪に手を染めようとしているのです。

そもそも技術も経験もない請負会社に検修構内業務を丸投げ委託することは明らかに偽装請負です。JRが請負会社の労働者に指揮命令することは派遣法違反です。

さらに重大なことに、JR東日本は、偽装請負の責任を回避するために、さらには、いずれは請負会社に転籍させることを折り込み済み

で、JRの社員を1000人規模で出向させるつもりです。これは「偽装請負逃れ」という点でも、「JR社員を下請会社に突き落とす」という点でも〈偽装出向〉に該当します。

出向という形式をとっても、単なる「労働力提供」のための出向や正当な目的のない出向は、職業安定法の違反です。前途ある若手社員をいずれは下請会社に転籍させる犯罪的行為です。

どうしてこんな法律違反が目の前で起きてしまうのか。東労組が検修構内業務の全面外注化について会社と妥結したからです。逆に言えば、みんなで声を上げれば止めることはできます。

#### ▼偽装出向が摘発された松下電器について書いた朝日新聞の記事 (2006.10.28)

asahi.com

検索 | 使い方

ホーム | 社会 | スポーツ | ビジネス | 暮らし | 政治 | 国際 | 文化・芸能 | ENGLISH | マイタウン

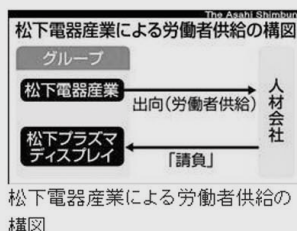
住まい | 就職・転職 | BOOK | 健康 | 愛車 | 教育 | サイエンス | デジタル | トラベル | 囲碁 | 将棋 | 社説 | コラム | ショップ

現在位置: asahi.com > ニュース特集 > 偽装請負 > 記事

### 請負会社への出向「違法」厚労省、松下電器を指導へ

2006年10月28日06時21分

松下電器産業の子会社「松下プラズマディスプレイ」(MPDP)の茨木工場(大阪府茨木市)で働く松下の正社員が請負会社に大量に出向していた問題で、厚生労働省は、出向の実態が職業安定法に違反する労働者供給事業にあたるとの判断に達し、近く松下本体に対し、是正を求めて行政指導する方針を固めた。請負会社への正社員の出向は、「偽装請負」を禁ずる法の網の目をかいくぐる手法として、他の大手製造業にも広がる可能性があったが、これで歯止めがかけられる見通しとなった。



関係者によると、松下電器は今年5月、MPDPに出向させていた正社員約200人をいったん自社に戻し、改めて複数の請負会社に出向させた。グループ企業でもなく、直接の資本関係もない請負会社に正社員を大量に出向させるのは異例だが、松下は技術指導を目的に出向させたと言明していた。しかし、出向した社員は、MPDP茨木工場の製造ラインで、技術指導だけでなく、自らも直接製造に携わっていたという。この手法を使えば、松下の出向社員が請負会社の労働者を指揮命令しても同じ請負会社の中でのやりとりになり、「偽装請負」と指摘されにくくなる。

プラズマテレビの円滑な製造には松下の出向社員が製造ラインで働くことが不可欠な状況だった。通常の出向には合致しない実情があり、厚生労働省は、職安法で禁じられている「労働者供給事業」にあたるかと判断した。